MAP-5　CPZ1　2020年4月1日発行

LIXIL

特殊加工化粧床材(捨て張り工法) 床暖房対応タイプ　施工上のお願い

■施工される方へのお願い

不具合の原因となりますので、下記事項をお守りください!

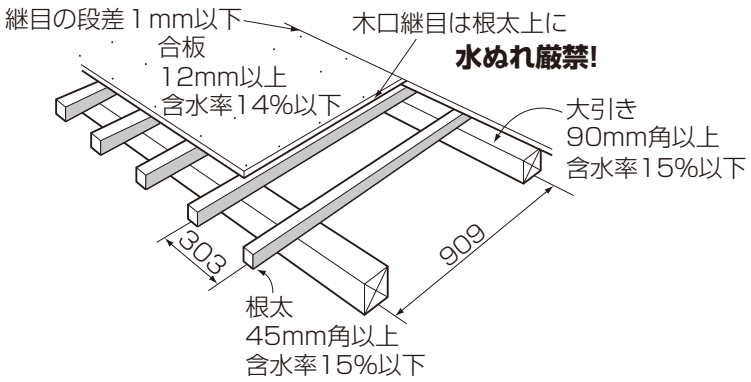
●本製品は、一般住宅屋内用です。土足で使用する場所や、頻繁に水ぬれしたり極端に湿度の高い場所には使用できません。
●本製品は木造合板捨て張り下地専用です。根太組みへの直接施工、コンクリート下地への直接施工はできません。
●二重床下地の場合は、二重床メーカーの施工説明書を読み、注意事項を守って正しく施工してください。
●下地合板の含水率は14%以下のものを使用してください。下地が水ぬれした場合は、下地の含水率が14%以下になったことを確認してください。含水率が高い状態で床を施工すると、水分が床材に移行して波打ちやフクレなど不具合の原因になります。
●床暖房下地に施工する場合は、短辺のサネ部にも接着剤の塗布と釘打ちを行ってください。行わないと、目すきやソリ、突上げなどの原因になります。

施工前のお願い

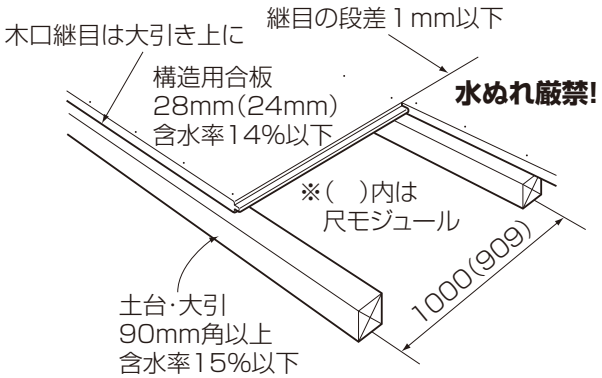
●施工前に各部材を必ず検品してください。製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買い上げ店までご連絡ください。施工後の色調不具合・キズなどによる交換は、お受けできませんのでご了承願います。
●水がかかったり、直射日光のあたる場所に置かないでください。ソリ・ねじれなどの原因になります。
●コンクリート下地に床下地組み（乾式二重床など）をする場合は、コンクリート含水率が10%以下となるよう乾燥させてください。（ポリシートの四周を布テープ止めにより被覆密閉し、24時間以上放置後シート下のコンクリート面が黒く変色していない程度）処理が十分でないと床材が床下からの湿気を吸い、フクレを生じたり床材裏面にカビが発生する原因となります。
※土間暖房、コンクリート埋設型の床暖房など、床下に暖房システムを組込む際は特にご注意ください。

■下地は下記の通りとし、接着剤を塗布し、ねじ等で固定してください。

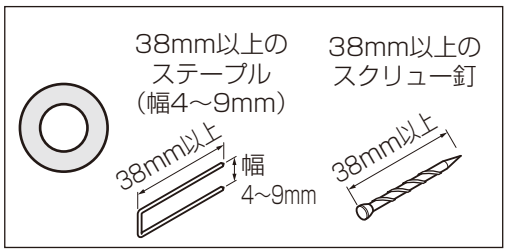
＜在来工法の場合＞

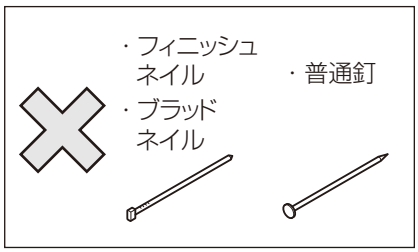


＜根太レス工法の場合＞



●床材の固定には接着剤を併用し、フロア専用スクリュー釘（38mm以上）またはフロア用ステープル（38mm以上）で固定してください。フィニッシュネイルやブラッドネイルは　使用しないでください。固定強度の低下の原因となります。





接着剤は以下のものをご使用ください。

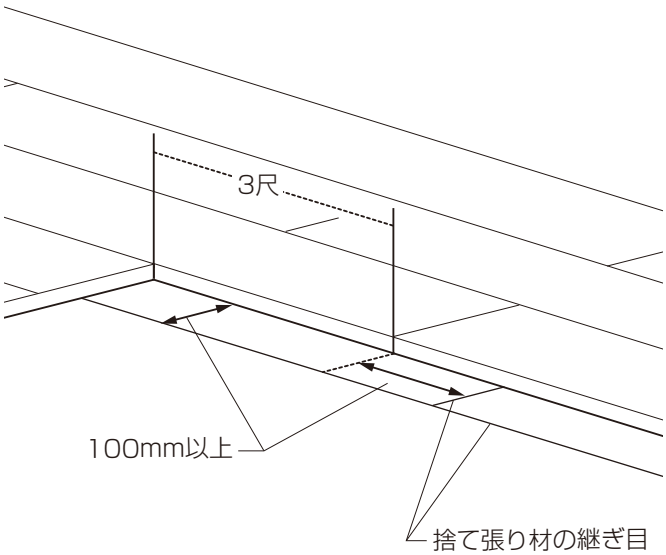
接着剤	品番	使用量の目安
LIXIL専用ウレタン接着剤	LZZZZ036	1.5坪/本
コニシ製接着剤	KU928-CX	1.5坪/本

※1本:760ml

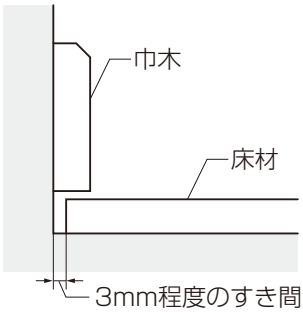
施工の手順

●取付け前に仮並べして色･柄のバランスを確認してください。張合わせは3尺ずらしのレンガ張りをおすすめします。床材と捨て張り材の継ぎ目は同位置にならないよう、縦･横とも100mm以上ずらしてください。段差やすき間、床鳴りの原因になります。【図－1】
●床材の伸び縮みを考慮し、壁際には3mm程度のすき間を取ってください。【図－2】
●指定接着剤を【図－3】の位置に塗布してください。
●接着剤がはみ出た場合は、石油ベンジンを布にしみ込ませてふき取ってください。

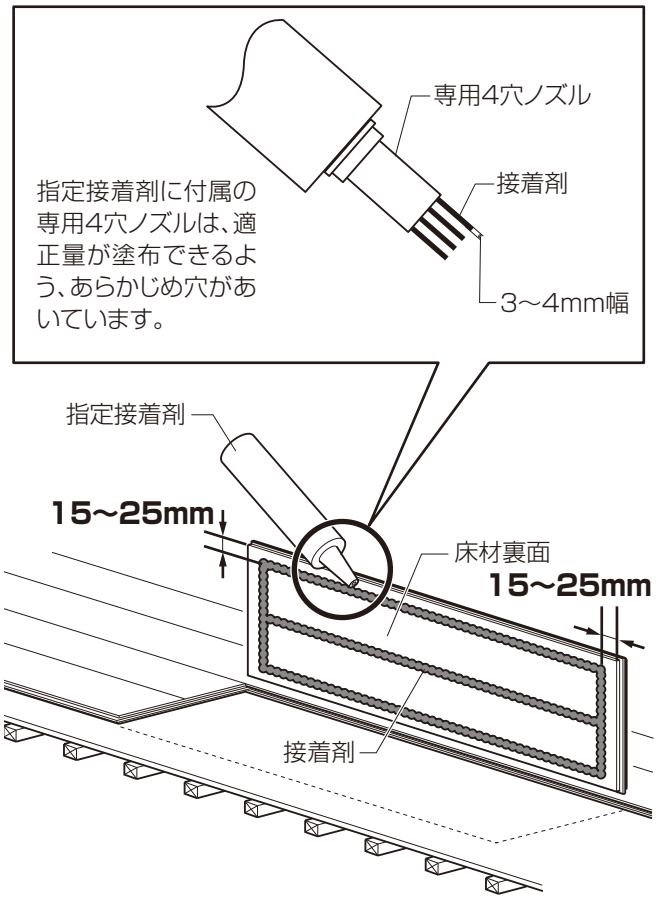
【図－1】



【図－2】



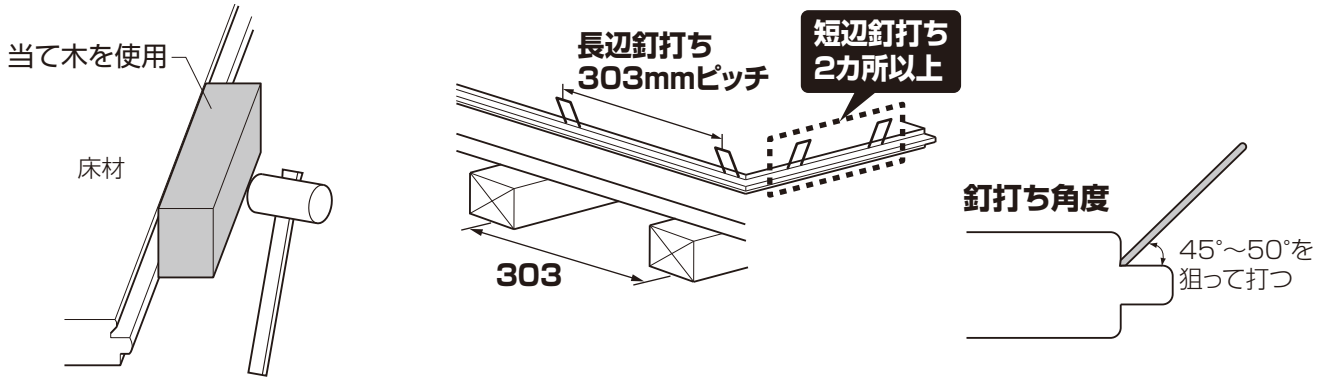
【図－3】



●釘打ちは【図−4】の通り、根太位置を狙って打ち込んでください。床材と捨て張り材のみの固定では、ソリ、床鳴りなどの原因となります。（根太レス工法の場合303mmピッチ）
●釘打ち機を使用する場合は、あらかじめ試し打ちなどでトルク調整を行ってください。

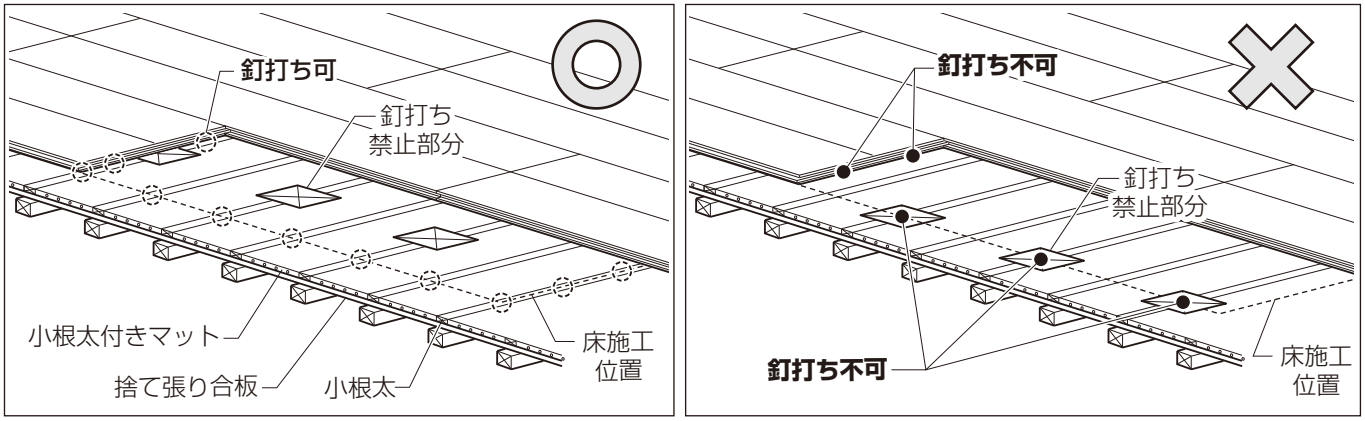
床材はめ込みの際は叩き込みすぎないように！

【図−4】

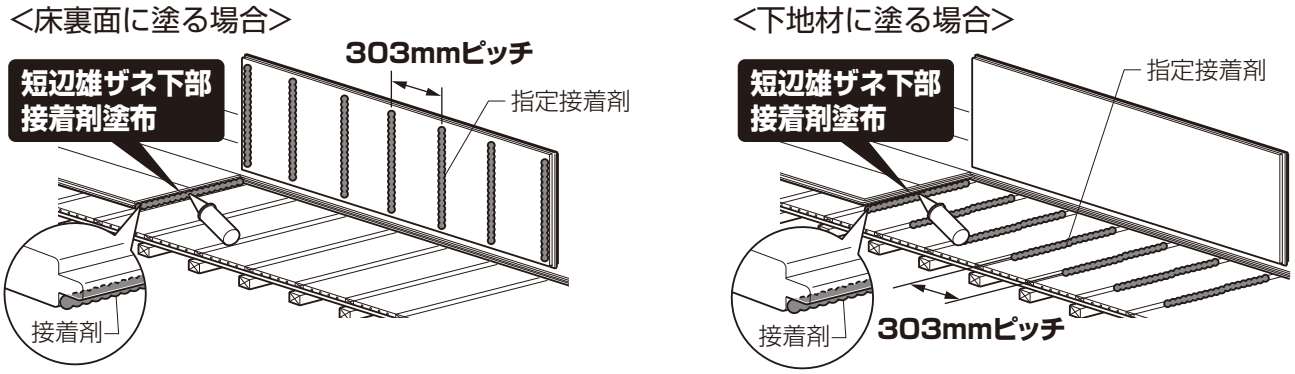


■床暖房用仕上げ材として使用する場合

①床材の継ぎ目（短辺方向）は必ず小根太上にくるようにして寸法出しをしてください。
　また、小根太以外の釘打ち禁止部分に床材の継ぎ目がこないように、あらかじめ割付けしてください。
※小根太の間隔は1尺（303mm）が基本となります。



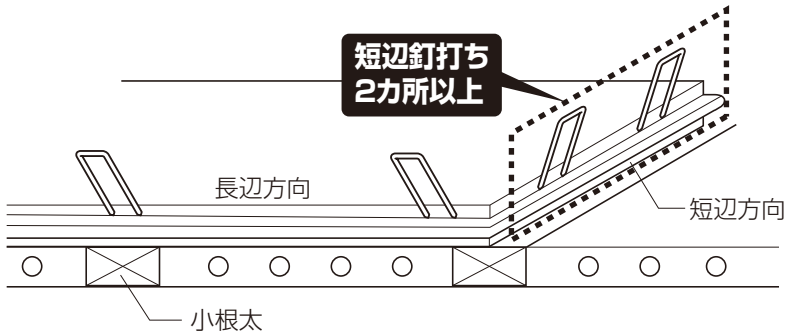
②指定接着剤を下図の位置に塗布してください。
　床裏面に塗る場合は床材端部から303mmピッチで、小根太位置と合うように接着剤を塗布してください。下地材に塗る場合は、小根太とその延長線上に塗布してください。

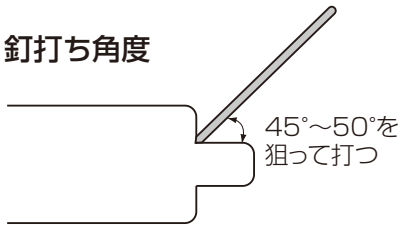


指定接着剤を短辺方向の雄ザネの下部に塗布してください。

※短辺方向に接着剤を塗布しませんと目すきやソリ、床鳴りなどの原因となります。
※指定接着剤（LZZZZ036）に同梱の円すいノズルをご使用いただくと、塗布しやすくなります。
　（ノズル穴径4mm程度にカット）

③釘打ちは長辺方向小根太位置に7本、短辺方向2本打ってください。短辺方向に釘を打ちませんと目すきの原因になります。
※小根太付きマットの「小根太以外の部分」、その他床暖房システムの「釘打ち禁止部分」には釘を打たないでください。



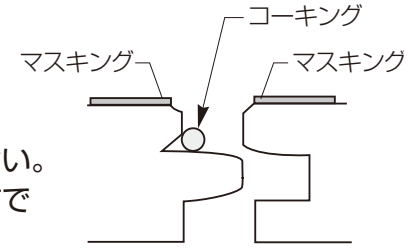


上記施工方法以外の方法で施工された場合の目すきやソリ・床鳴りなどの不具合は、当社では責任を負うことができません。

■水周りへの施工について

トイレ・洗面所への施工の際、より高い耐水性をお求めの場合は、床の継ぎ目や配管周り、壁周りにシリコン系のコーキング剤を塗布することをお勧めします。

・床材表面にマスキングテープを張ってください。
・雄ザネ上にシリコン系のコーキング剤：クリア色（現場手配）を塗布して、床材を張り合わせてください。
・はみ出したコーキングは取り去って最後にマスキングを剥がしてください。床材表面にコーキングが付いた場合は、硬化する前に水で湿らせた布でふき取ってください。



施工後のお願い

●施工後は、木クズ・砂・ゴミを完全に取除き、養生シートやベニヤなどですき間なく養生してください。その際、必ず別売りの養生テープ（LZZZZ004）をご使用ください。市販のガムテープなどは粘着力が強いため、表面材のハガレの原因となります。
●施工中、雨の吹込みにより、床材の表面が濡れたままになると、フクレやソリの原因になります。濡れたまま放置することはお避けください。
●汚れのひどいときは、固く絞った濡れぞうきんでふくようにしてください。その後、乾いた布でふいてください。
●この床材は表面に汚れが付着しにくいよう、特殊処理を施していますのでワックスがけは必要ありません。お客様のご都合でワックスがけをされる場合は、リンレイ社の「ハイテクフローリングコート」をご使用ください。他のワックスを使用すると、不具合の原因になります。
●ワックスがけをされますと、表面がワックスの性能になり、本来の性能を損なう場合があります。
●ワックスご使用の際は直接床にまかないでください。表面フクレや突上げの原因になります。ワックスのまき塗りによる不具合は責任を負いかねますのでご了承ください。
●ワックスの使用方法を誤ると床材に異常をきたす場合がありますので、その他の使用方法についてはワックス容器記載の使用方法をよくお読みください。
●ワックスはくり剤および溶剤（特にシンナーなどのトルエン・アセトン類を含むもの）は使用しないでください。床材を傷める原因となります。
●この床材は表面に特殊処理を施していますので、指定ワックス以外のコーティング処理を行った場合、コーティングがはがれる場合があります。指定ワックス以外のコーティング処理により生じた不具合については責任を負いかねますのでご了承ください。